

令和8年度シラバス（保健体育）

学番 28 新潟県立村上高等学校

教科(科目)	保健体育（保健）	単位数	1 単位	学年(コース)	1 学年
使用教科書	大修館書店『現代高等保健体育 改訂版』				
副教材等	大修館書店『図説 現代高等保健 改訂版』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	①未知のものに勇気をもって向き合い、謙虚に、かつ、意欲的に学ぶ生徒の育成を行います。 ②他者への配慮と心のこもった挨拶や振る舞い方を身に付け、思いやりをもって他者に接することにより、真に信頼される生徒を育成します。 ③学校生活の様々な機会を通じて心と体を鍛え、自分の将来の目標に向け、覚悟をもって努力する生徒を育成します。
カリキュラム・ポリシー	①生徒一人ひとりの学力を高めるために、基礎的な学習の繰り返しにより知識の定着を図る指導を行います。 ②確かな学力に基づく問題解決力と判断力を身に付けさせるために、教科横断的な探究学習を行います。 ③専門分野に対する深い理解をもった職員が、質の高い授業を行い、学ぶことの面白さと喜びを伝えながら、生徒の教養を高めます。

2 学習目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。 (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
--

3 指導の重点

我が国の疾病構造や社会の変化に対応して、健康を保持増進するためには、個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりなどが大切であるというヘルスプロモーションの考え方を生かし、人々が自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることを理解できるようにする。
--

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付けている。	個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・レポートやワークシート、提出物などの内容の確認などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・授業中の発言・発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、提出物などの内容の確認 ・振り返りシート等の記述の分析などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言・発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、提出物などの内容の確認 ・振り返りシート等の記述の分析などから、評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4月・5月・6月	1 単元 現代社会と健康 01 健康の考え方と成り立ち 02 私たちの健康のすがた 03 生活習慣病予防と回復 04 がんの原因と予防 05 がんの治療と回復	教科書 副教材	様々な健康の考え方や健康を成り立たせている要因についてや、我が国の健康水準の変化とその背景や現在の健康問題について理解する。 生活習慣病の種類と要因、その予防についてや、がんの種類・原因について理解し、その予防や治療法などについて各自の意見を発表する。	5	出席状況 ワークシート (記述の確認) ノート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認) 定期考査
	06 運動と健康 07 食事と健康 08 休養・睡眠と健康	教科書 副教材	運動、食事、休養・睡眠と健康の関りについて理解するとともに、各自の生活スタイルにあった取り入れ方を考え、発表する。	5	
7月・8月・9月	09 喫煙と健康 10 飲酒と健康 11 薬物乱用と健康	教科書 副教材	喫煙・飲酒は、生活習慣病などの要因になることを理解し、健康を維持するための行動選択について考える。 薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることを理解する。 これらの対策には、個人や社会環境への対策が必要なことを理解し、どのようなことが必要か考え、発表する。	4	出席状況 ワークシート (記述の確認) ノート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認) 定期考査
	12 精神疾患の特徴 13 精神疾患の予防 14 精神疾患からの回復	教科書 副教材	精神疾患の予防・回復には、調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気づくことが重要であることを理解し、その対策にはどのようなことが必要か考え、発表する。	4	
10月・11月	15 現代の感染症 16 感染症の予防 17 性感染症・エイズとその予防 18 健康に関する意思決定・行動選択 19 健康に関する環境づくり	教科書 副教材	感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には、個人的及び社会的な対策を適切に行う必要があることを理解し、どのような行動が必要か考え、発表する。	5	出席状況 ワークシート (記述の確認) ノート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認) 定期考査
12月・1月	2 単元 安全な社会生活 01 事故の現状と発生要因 02 安全な社会の形成 03 交通における安全	教科書 副教材	安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要である。また、交通事故の防止には、どのようなことを理解し、行動選択したらよいのか考え、発表する。また、交通事故における責任や補償について理解する。	4	
2月・3月	04 応急手当の意義とその基本 05 日常的な応急手当 06 心配蘇生法	教科書 副教材	適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること。応急手当には、正しい手順があること。また、心配蘇生等の応急手当は、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場面があることから、速やかに行う必要があることを理解し、実践できるようにする。	5	出席状況 ワークシート (記述の確認) ノート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認) 定期考査

計 32 時間 (55 分授業)

7 課題・提出物等

ワークシート、課題プリント、ノート等

8 担当者からの一言

私たちの生活は、昔に比べるととても豊かになりましたが、それでも生活習慣病、薬物乱用、精神疾患など、健康にかかわる問題は少なくありません。また、健康自体のとらえ方や健康のために個人や社会に求められることも変化しています。現代の健康問題や新しい時代の健康の考え方について学習し、それを主体的に実践できる行動力を身につけましょう。